

地域の少子化対策に関連する データの収集・分析の考え方について

【地域評価指標のひな型：補足資料①】

Ver.2021.8

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局

少子化対策の検討に関するデータの活用について①

- 「少子化対策地域評価ツール」では、地域ごとの強み・課題の分析に根ざした対応策の検討を推し進めるために、**「客観的指標の分析」と「主観調査」を相互に組み合わせて地域特性の把握・見える化**を図ることを推奨している。
 - 客観的指標については、例えば以下の方法などによって情報収集することができる。
 - ① 各自治体で作成していただいている「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「人口ビジョン」等でまとめている基礎データの活用
 - ② 国や都道府県で集計・公表している**各種統計データの活用**（地域評価ツールの一部である「地域評価指標のひな型」の活用）
 - 上記②についての詳細な説明は「地域評価指標のひな型」・「『地域評価指標のひな型』の使い方」をご覧ください。これらの資料を利用する際の補足資料として以下の点を整理したため、これを積極的に活用していただき、都道府県と市区町村が一体となって、データに基づく少子化対策の検討を進めていくことを期待する。
- ✓ 少子化対策の検討に関するデータの収集・分析についての基本的な考え方
 - ✓ 「地域評価指標のひな型」にまとめている統計データのうち、政府統計のエクセルファイル及びページのリンク
 - ✓ 少子化対策の検討に関するデータの収集に当たって参考になると考えられる統計調査、分析の視点の例

「地域アプローチ」
による検討手順

1

部局横断的な
検討体制の構築

2

客観的指標の分析による
地域特性の見える化

3

主観調査による
地域特性の把握

4

地域の強み・
課題の分析

5

対応策の検討

- 少子化については、主に以下に掲げるような**様々な領域が相互に影響し合っており、少子化対策の検討に当たっては分野横断的に多様な観点を取り入れる**ことが求められる。（詳細は地域評価ツールを参照）。

A 賑わい・生活環境

B 家族・住生活

C 地域・コミュニティ

D 医療・保健環境

E 子育て支援サービス

F 働き方・男女共同参画

G 経済・雇用

- 4 ページ以降、それぞれの分野について参考となる政府の統計データと、都道府県で収集・展開することが期待される指標の例について取り上げていくが、市区町村単位でデータがとりにくい指標や、統計では把握しにくい情報については、都道府県単位のデータでの代替や、**住民意識に関するアンケート調査などの主観調査で補う**ことが重要。
- 特に、統計データから得られた情報が感覚的なまちの評判と齟齬がある場合などは、主観調査による地域特性の把握や具体策の検討に当たって重要な手がかりとなり得るともいえる。

※ 対策の検討に当たって少子化に関する地域特性をわかりやすく把握することが目的であり、個別の指標について一喜一憂したり自治体間のランク付けをすることを趣旨とするものではなく、あくまで分析の材料の一つであるため取組の進捗などを全面的に代表するものではないことに留意が必要。

（補足）出生率の向上に重要なポイントについて

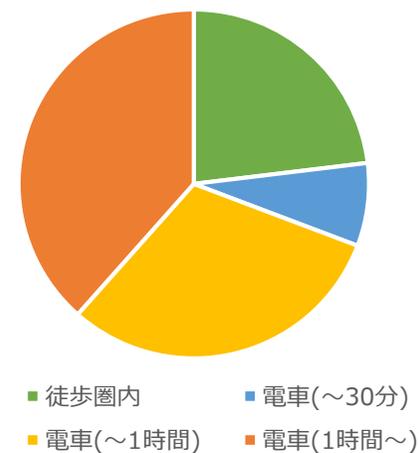
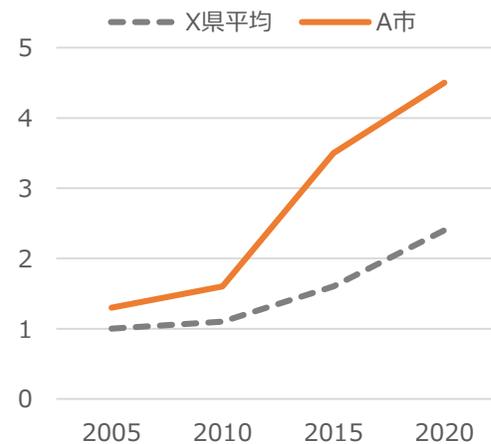
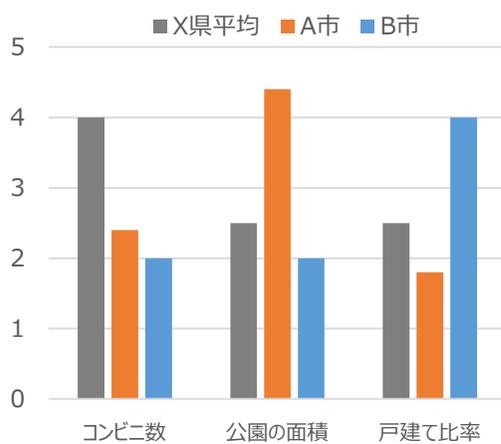
- 過去に行った調査の結果によると、出生率の向上を実現している市町村について、市町村によって様々な特徴があるものの、基本的には、若い世代（男女）が、安心して結婚し、子どもを産み育てるために、以下が重要だと考えられる。

- 1) 家庭・子育てと仕事とを「両立」しやすい環境であること
- 2) 「経済」的な安定が得られる就業・生活環境であること
- 3) 多くの人にとって住み続けたい、戻ってきたいと思える**魅力や文化・環境、支え合いのコミュニティづくりによる「安心感」**があること

（参照）内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「出生数や出生率の向上に関する事例集（今後のさらなる検討のために）」（2019年3月）

収集したデータの見せ方について

- 幅広い分野にまたがる関係者を集めて、様々なデータを活用して議論を展開するためには、収集したデータが明らかにしたい特性をきちんと反映した構図となっているか、データの見せ方にも注意を払う必要がある。
- 「地域評価指標のひな型」においては、様々な指標に関する地域間の状況を一見して比較できるようにする観点から、**偏差値を活用したレーダーチャートによる分析を紹介しているが**、これ以外の方法として、個別の指標の比較に焦点を当てた**棒グラフ**や、経年の比較に適した**折れ線グラフ**、それぞれの種別の状況を割合ごとに示した**円グラフ**を活用するなど、**伝えたいメッセージに合わせていろいろな形式で見える化をすることが有効である。**



(補足) 偏差値を活用したレーダーチャートについて

- 「『地域評価指標のひな型』の使い方」でも紹介しているが、分野横断的な指標の状況や各分野内の様々な指標の状況について、全国・都道府県内の平均値や他市町村と比較するには、偏差値を活用してレーダーチャート方式で見える化をするのが一案。
- 偏差値とは、平均値を50、標準偏差を10に変換して個別の指標の状況をみたデータであり、エクセルでの算出方法は以下となる。「地域評価指標のひな型」では、これらの関数を埋め込んだエクセルシートを用意して、レーダーチャートの作成方法を紹介している。
 - ① AVERAGE関数を利用して、★県全体（A市～Z市）の平均値を算出する。
 - ② STEDVP関数を利用して、★県全体（A市～Z市）の標準偏差を算出する。 ※標準偏差：グループ内のデータのバラつきの度合い
 - ③ ★県におけるA市の偏差値は、**「(A市の数値 - ★県全体の平均値) ÷ (★県全体の標準偏差) × 10 + 50**」で算出できる。

《少子化との関係性の考え方（仮説）》

- ✓ 生活利便性が高いと、若者が地域に集まり、出会いの機会が増える
- ✓ まちの活気があると、住民の交流の機会が増え、出会いの機会が増える
- ✓ 自然・緑地が多いと、子どもを遊ばせる環境が整い、子育てしやすい環境となる
- ✓ 教育環境が充実していると、特に子育て世代の女性のUターンが増加する

【「地域評価指標のひな型」で紹介している参考例】

生活利便性
まちの活気

- ◎ 大型小売店数 《A1》
- ◎ 医薬品・化粧品小売り業 事業所数 《A2》
- ◎ 飲食店 事業所数 《A3》
- ◎ 娯楽業 事業所数 《A4》

自然・緑地

- ★ コンビニ店舗数 《A5》
- ★ 自然公園面積 《A6》
- ◎ 都市公園等の面積 《A8》

教育環境

- ★ 全日制・定時制高校の学校数 《A7》

※ 上記◎はデータファイル・HPリンクを提供。★は都道府県と連携して収集していただきたいデータ

【さらなる分析（主観調査、ディスカッションなど）の視点の例】

- 大型小売店などの施設は、子育て世代への配慮がなされているか？
- 公園などの自然・緑地は、子育て世代が集まる場となっているか？
- 大学や専門学校などの設置状況はどうなっているか？

【政府の統計調査の参考例】

- 総務省「統計でみる市区町村のすがた」
… 各種の政府統計をまとめたもので、居住のほか、自然環境、経済、福祉など広範なデータを公表。
〔時点〕2020年（毎年更新）
- 総務省「経済センサスー活動調査」
… 産業別の事業所数や男女別の従業員数等の、経済活動に関するデータを公表。
〔時点〕2016年（4年ごと更新）
- 総務省「公共施設状況調」
… 公共施設等について、施設類型別に面積や数量などをまとめたデータを公表。
〔時点〕2018年度決算（毎年更新）
- 経済産業省「商業動態統計調査」
… コンビニや百貨店等の業態別で、販売額や従業員数等のデータを公表。
〔時点〕2020年（毎年更新）
※都道府県別の情報であり、市区町村別はなし
- 文部科学省「社会教育調査」
… 公民館やスポーツ施設など社会教育に関する施設の事業実施や利用状況に関するデータを公表。
〔時点〕2018年（3年ごと更新）

《少子化との関係性の考え方（仮説）》

- ✓ 住宅環境が良好であると、子育てしやすいと感じられる
- ✓ 家族・親族からの支援が期待できると、子育てしやすいと感じられる

【「地域評価指標のひな型」で紹介している参考例】

住宅環境

- ◎ 持ち家世帯の比率 《B1》
- ◎ 住宅延べ面積（100㎡以上の割合）《B2》

家族・親族
からの支援

- ◎ 一戸建て比率 《B3》
- ◎ 3世代同居率 《B4》

※ 上記◎はデータファイル・HPリンクを提供。

【さらなる分析（主観調査、ディスカッションなど）の視点の例】

- 住宅環境と市街地との行き来がしやすい環境となっているか？
- 出生率の高い地域・低い地域で3世代同居率を比較できないか？
- 学生や高齢者などの居住状況はどうなっているか？

【政府の統計調査の参考例】

■ 総務省「国勢調査」

… 世帯類型別の世帯数や住宅の種類・建て方、世帯員の居住期間、就業状態や仕事の種類などのデータを公表。
〔時点〕2015年（5年ごと更新）

■ 総務省「住宅・土地統計調査」

… 住宅数や空き家数、世帯主の通勤時間等に加え、住宅の規模、所有関係（持ち家・借家）や建て方（一戸建て・共同住宅）などの類型別に戸数や面積、世帯人員数などのデータを公表。
〔時点〕2018年（5年ごと更新）

■ 総務省「全国家計構造調査」

… 世帯類型別（配偶関係、子ども・高齢者の有無）に、家計における1か月間の収入と支出、資産の状況などのデータを公表。
〔時点〕2019年（5年ごと更新）
※ 都道府県別の情報であり、市区町村別はなし

《少子化との関係性の考え方（仮説）》

- ✓ 近所の人々からの支援が期待できると、子育てしやすいと感じられる
- ✓ NPO等からの支援が期待できると、子育てしやすいと感じられる
- ✓ 地域の安心・安全が確保されると、子育てしやすいと感じられる
- ✓ 地域の将来への前向きな感情を持つことで、出生意欲が高まる
- ✓ 子どもが身近にいることにより、出生意欲が高まる

【「地域評価指標のひな型」で紹介している参考例】

子どもとの
ふれ合い

◎ 身近にいる子ども数（0～17歳人口密度）《C1》

NPOの支援

◎ 子どもの健全育成に関するNPO数《C2》

安心・安全

★ 消防団団員数《C3》

★ 刑法犯認知件数《C4》

※ 上記◎はデータファイル・HPリンクを提供。★は都道府県と連携して収集していただきたいデータ

【さらなる分析（主観調査、ディスカッションなど）の視点の例】

- 子育て支援をしているNPO等の活用状況や、行政との連携状況は？
- 子どもや親同士がふれ合うコミュニティが形成されているか？
- 子どもが安心して育つ環境が整っているか？

【政府の統計調査の参考例】

■ 総務省「統計でみる市区町村のすがた」

… 各種の政府統計をまとめたもので、居住のほか、自然環境、経済、福祉など広範なデータを公表。
〔時点〕2020年（毎年更新）

■ 内閣府「NPO法人ポータルサイト」

… 市区町村ごとに、「子どもの健全育成」や「まちづくり」、「保健・医療・福祉」など活動別のNPOの設置状況や各NPOの事業概要等のデータを公表。
〔時点〕常時更新

■ 文部科学省「社会教育調査」

… 公民館、スポーツ施設、図書館や青少年教育施設など社会教育に関する施設の事業実施や利用状況に関するデータを公表。
〔時点〕2018年（3年ごと更新）

■ 警察庁「道路の交通に関する統計」

… 交通事故について、発生件数や年齢別の負傷者数・死亡者数などのデータを公表。
〔時点〕2021年（毎月更新）

《少子化との関係性の考え方（仮説）》

- ✓ 医療環境が良好であると、出産・育児に対する安心感が高まる
- ✓ 保健環境が良好であると、出産・育児に対する安心感が高まる

【「地域評価指標のひな型」で紹介している参考例】

保健環境

◎ 保健師数 《D1》

医療環境

◎ 産婦人科医師数（20～44歳女性人口あたり）《D2》

◎ 小児科医師数（0～9歳児人口あたり）《D3》

※ 上記◎はデータファイル・HPリンクを提供。

【政府の統計調査の参考例】

■ 厚生労働省「保健師活動領域調査」

… 市町村における保健師の人数、業務内容や活動時間などのデータを公表。
〔時点〕2020年（毎年更新）

■ 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」

… 医師、歯科医師、薬剤師に関する男女別や年齢別の人数などのデータを公表。
〔時点〕2016年（2年ごと更新）

■ 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

… 妊娠届出数、妊産婦・乳幼児の健康診査の受診人数や、健康に関する指導などの市区町村が実施している健診などに関するデータを公表。
〔時点〕2019年（毎年更新）
※市区町村は指定都市等の情報を公表

■ 文部科学省「学校保健統計調査」

… 幼稚園、認定こども園、小学校等の種別に、児童等の発育状態や健康状態（栄養状態、疾患の状況等）のデータを公表。
〔時点〕2020年（毎年更新）
※都道府県別の情報であり、市区町村はなし

【さらなる分析（主観調査、ディスカッションなど）の視点の例】

- 保健・医療サービスに住民がアクセスしやすい環境が整っているか？
- 行政が保健・医療サービスの情報を住民にわかりやすく伝えているか？
- 近隣の自治体との比較はどうなっているか？

《少子化との関係性の考え方（仮説）》

- ✓ 保育所等へ入所しやすいと、子育てしやすいと感じられるようになる
- ✓ 子育て支援サービスを利用しやすいと、子育てしやすいと感じられるようになる

【「地域評価指標のひな型」で紹介している参考例】

子育て支援サービスの利用しやすさ

- ◎ 地域子育て支援拠点数 《E1》
- ◎ 障害児入所施設、児童発達支援センター数 《E2》
- ★ ファミリーサポートセンター数 《E3》
- ★ 放課後児童クラブ登録児童割合 《E4》

保育所への入所しやすさ

- ◎ 待機児童数（0～5歳人口あたり）《E5》
- ★ 保育所等利用児童割合（0～5歳人口あたり）《E6》

※ 上記◎はデータファイル・HPリンクを提供。★は都道府県と連携して収集していただきたいデータ

【さらなる分析（主観調査、ディスカッションなど）の視点の例】

- 保育所や子育て支援サービスの立地バランスやアクセスのしやすさは？
- 若者への地域子育て支援拠点等の周知は進んでいるか？
- 保育時間が長く活用しやすい保育所が生活圏内に整っているか？

【政府の統計調査の参考例】

- 厚生労働省「地域子育て支援拠点事業実施状況」
… 地域子育て支援拠点事業の実施状況に関する類型別のデータを公表。
〔時点〕2019年（毎年更新）
※ 市区町村は指定都市等の情報を公表
- 厚生労働省「社会福祉施設等調査」
… 障害児入所施設や児童発達支援センターなどの社会福祉施設の設置状況や従事者の状況、利用状況等に関するデータを公表。
〔時点〕2019年（毎年更新）
※ 市区町村は指定都市等の情報を公表
- 厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ」
… 保育所等について、利用児童が大幅に増加した市区町村や、待機児童の市区町村別の増減の状況などに関するデータを公表。
〔時点〕2020年（毎年更新）
- 内閣府「地方自治体における少子化対策の取組状況に関する調査」
… 地方自治体の少子化対策の取組状況や、一部の自治体の少子化対策に関する取組の実例などを紹介。
〔時点〕2021年（不定期・委託事業）

《少子化との関係性の考え方（仮説）》

- ✓ 労働・通勤に要する時間が短いと、育児時間を取りやすくなり、出生意欲が高まる
- ✓ 女性の社会参画が進んでいる地域では、子育てに対する夫婦の協力関係が構築されている
- ✓ 従業員の事情に配慮する企業が多いと、子育てしやすいと感じられるようになる

【「地域評価指標のひな型」で紹介している参考例】

労働・通勤に
要する時間

◎ 通勤時間《F1》

◎ 女性労働力率（20～44歳）《F2》

◎ 女性第3次産業従事者割合（20～44歳）《F3》

◎ 管理的職業従事者に占める女性の割合《F4》

◎ 市町村議会議員に占める女性の割合《F5》

◎ 防災会議の構成員に占める女性の割合《F6》

◎ くるみん認定企業の一覧《F8》

※ 上記◎はデータファイル・HPリンクを提供。

女性の
社会参画

女性従業員
への配慮

【政府の統計調査の参考例】

■ 総務省「住宅・土地統計調査」

… 住宅数等に加え、世帯主の通勤時間などのデータを公表。
〔時点〕2018年（5年ごと更新）

■ 総務省「国勢調査」

… 年齢・性別、産業、仕事の種類や従業上の地位などの就業状態に関するデータなどを公表。
〔時点〕2015年（5年ごと更新）

■ 内閣府「市町村女性参画状況見える化マップ」

… 地方自治体における女性の参画状況について、役職別の女性割合や男性の育休取得率などのデータを公表。
〔時点〕2020年（毎年更新）

■ 内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」

… 地方自治体における男女共同参画社会の形成の状況や女性に関する施策の実施状況などのデータを公表。
〔時点〕2020年（毎年更新）

■ 厚生労働省「くるみん認定及びプラチナくるみん認定企業名都道府県別一覧」

… 市区町村別のくるみん認定・プラチナくるみん認定を受けた企業名の一覧を公表。
〔時点〕2021年（毎年更新）

【さらなる分析（主観調査、ディスカッションなど）の視点の例】

- 女性の労働時間は全国や都道府県と比較してどういった状況か？
- 男女それぞれの家事・育児の時間はどういった状況にあるか？
- 市町村内でくるみん認定企業の認知度を高めることができているか？

《少子化との関係性の考え方（仮説）》

- ✓ 地域の産業が良好であると、経済的な安定や不安の軽減により、結婚や出産に前向きになる
- ✓ 雇用環境が良好であると、経済的な安定や不安の軽減により、結婚や出産に前向きになる
- ✓ 所得が高いと、経済的な安定や不安の軽減により、結婚や出産に前向きになる
- ✓ 生活コストが低いと、経済的な安定や不安の軽減により、結婚や出産に前向きになる

【「地域評価指標のひな型」で紹介している参考例】

産業の状況

◎ 昼夜間人口比《G1》

所得

◎ 課税対象所得《G2》

◎ 男性の正規雇用者比率《G3》

◎ 女性の正規雇用者比率《G4》

雇用環境

◎ 完全失業率（20～44歳）《G5》

※ 上記◎はデータファイル・HPリンクを提供。

【政府の統計調査の参考例】

■ 総務省「国勢調査」

… 年齢・性別、産業、仕事の種類や従業上の地位などの就業状態に加え、従業地・通学地の昼夜間人口に関するデータなどを公表。
〔時点〕2015年（5年ごと更新）

■ 総務省「市町村税課税状況等の調」

… 市町村別に、所得区分別の納税義務者の人数や、課税対象所得額に関するデータを公表。
〔時点〕2020年（毎年更新）

■ 総務省「就業構造基本調査」

… 産業、雇用形態、従業上の地位や所得などの状況別に就業者の状態に関するデータを公表。
〔時点〕2017年（5年ごと更新）
※ 都道府県別の情報であり、市区町村はなし

■ 総務省「全国家計構造調査」

… 世帯類型別（配偶関係、子ども・高齢者の有無）に、家計における1か月間の収入と支出、資産の状況などのデータを公表。
〔時点〕2019年（5年ごと更新）
※ 都道府県別の情報であり、市区町村別はなし

【さらなる分析（主観調査、ディスカッションなど）の視点の例】

- 有効求人倍率など仕事の見つけやすさに関する指標の状況は？
- 子育て世代の方がパートなどで働きやすい環境は整っているか？
- 住宅や教育等の生活コストはどうなっているか？

X. 出生に関する指標について

- 前掲の各種指標については、例えば以下のような関連性によって出生率に影響を及ぼしていると考えられる。
- 各自治体におかれては、各種データを参考としつつ、結婚～出産～子育てに関する課題を明確化し、地域の実情を踏まえたオーダーメイド型の取組を分野横断的に展開する「地域アプローチ」による少子化対策を推し進めていくことが期待される。
- 出生に関する主な指標について、「男女の出会い・結婚」から「第1子の出生」、そして「第2子・第3子以降の出生」に至るまでに課題となる事柄はそれぞれ異なるため、それぞれの指標を観察して状況把握することが重要。
 - ◎ 男性・女性の未婚率（25～39歳）
 - ◎ 有配偶出生率（15～49歳）
 - ◎ 合計特殊出生率（全体 / 第1子、第2子、第3子以降） ※左記◎はデータファイル・HPリンクを提供。

